

「租税教室」 税金って何だろう？



12月11日、神石高原町役場住民課税務係の方にゲストティーチャーに来ていただき、租税教室を行いました。

「税金ってなんでしょう？」

「みなさんは、どんな税金を知っていますか？」

「税金って、何種類くらいあると思いますか？」

6年生の知っている税金は・・・

○最初に「どんな税があると思いますか。」と言われて、正直、消費税しか出てきませんでした。その後、プリントの裏を見てこんなにたくさんあったんだと思いました。



「集められた税金（消費税）はどこへ行くのか？」という説明を聞いたり、「税金が使われているものと使われていないものの仲間分けクイズ」をしたりして、税金についての学習は進みました。

- 今日初めて税について分かったことは、お店とかにはらう税の行き先です。ぼくは、コンビニの人が給料としてそのままらうのかと思っていたけれど、税務署に行って、日本銀行に行くと分かりました。
- 税金について分かったことは税金の流れです。みんな→コンビニ→税務署→日本銀行→国会→みんなの順になっていて、また別の形でわたしたちのところに返ってくるということです。

○税金がどんなことに使われるのかあまり知らなかったけれど、公園や信号などいろいろなところに使われていると分かりました。税金はいらなと思っていたけれど、大切なものなんだと分かりました。

最後に「税金がなくなったらどんな社会になるのか？」というDVDを見せてもらい、税金の役割・大切さについて学びました。



○「108円です」私は百均によく行き、そこでは税金もいっしょに払っています。しかし、税金はどんなことに役立っているのかなどあまり考えずにただ108円を払っていました。…DVDで税金がない世界ってどんなものだろうということについて知りました。人々の不安定な生活を見て本当に税金は大切だなと思いました。これからは、税金をはらう時に、今日勉強したことも考えつつ、買い物をしようと思いました。

授業の最後に、「1億円」の見本を持たせてもらいました。結構、重い！

税金は、みんなが納め、みんなのために使われるから、社会の「会費」のようなものと教えてもらいました。大切な税金の使い方はどのようにして決まるのか、3学期に学習します。